

会議開催記録

会議名	第5回 菊川市総合計画審議会
日 時	平成27年9月17日（木）19:00～
場 所	菊川市 2階 庁議室
出席者	審議会委員11名 事務局7名
議 事	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議事 (1) 菊川市人口ビジョン創生総合戦略（案）【資料1-1、1-2】 (2) 第2次菊川市総合計画基本構想骨子(案)【資料2】 (3) 第2次菊川市総合計画基本構想(素案)【資料3】 4. 閉会
議事要旨	1. 開会 ・ 互礼 ・ 15名委員のうち、現在9名出席、2名遅れて出席予定。過半数の出席により会議成立の確認 ・ 議場配布資料および事前配布資料、資料1－1～資料3の確認 2. 会長あいさつ 会 長：先般、かつての七夕豪雨を上回る豪雨があり、火山噴火も続いています。世の中騒然としています。政治的な局面の変動も来ています。こうしたなかで、当審議会では、総合計画と地方創生の総合戦略づくりの2つの大きなメニューをこなしています。今日は最後のまとめで、内容、基本構想も出されています。それぞれ積極的なご意見をお願いします。市議会や外部からは、なかなか厳しいご意見も出ているようです。我々委員の力量が問われてもいるところです。よろしくお願いします。 ○ 企画財政部長あいさつ 部 長：本来なら市長がご挨拶すべきですが、本日は公務の為、欠席させていただいております。本会も第5回目となり、私共は10月末までに総合戦略の完成を目指してまいりて、そこに向けた最後の審議会です。作るからには、何処へ出しても恥ずかしくないものにしたいという思いで、皆様方からの貴重なご意見を踏まえ、少しずつですが、確実に良くなっていると思います。今回が最後になりますのでよろしくお願いいたします。総合計画につきましては、市民や議会等の意見を伺ってきましたので、これについてもご意見お願いしたいと思います。 事務局：総合計画審議会条例に基づき、議事進行を西野会長にお願いしたいと思います。 3. 議事 ・ (1) 菊川市人口ビジョン 菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について（資料1－1、1－2）、事務局説明 （質疑）

会 長 : 前回審議会からみて、表現としてはかなり思い切ったものになってきたと思います。

委 員 : 「約5,000人増加」の根拠の確認をお願いします。それから、言葉として「主婦」という言葉はもう使ってはいけないのではないかと思います。主人・主婦という言葉が私達世代は使いません。菊川型モデルの創出の所で、「女子を含む」という表現とか。農業女子に限定したのは、どういう意図ですか。男性を如何に頑張らせるかの方がこれから重要という認識です。子育て世代の経済的支援の所で、用途を行政の方で限った方がいいのでは、教育に限るとか、教育資金の所では効果があるのではと思います。

事務局 : 合計特殊出生率を現在1.66という数字を20年かけて2.06という数字に持っていきたいと思っています。社会移動に関しては、近年は転入超過となっていますが、転出抑制、社会移動の仮置として30%、(年300人)を見込んで、現実的に達成できる5,000人という数字になっています。

基本目標1の「主婦」という言葉についてですが、専業主婦だけではなく、働いておられる主婦の方もいらっしゃるで、その方達も含めてという意味です。住みやすい町ランキングで「主婦が幸せに暮らせるまちランキング」というアンケートから、そのまま使わせていただいています。

委 員 : 「女偏」をつける漢字言葉づかいが古くさいというイメージがあつて、それを菊川市が持っているという表現になっているので、もったいないと思います。とても良いコンセプトなのですが。

事務局 : もともとは国のプロジェクトで農業女子プロジェクトというのがありまして、そのプロジェクトに菊川市ものれないのかと考えた所から始まっていて、既存事業に乗かる形をとったことから農業女子という言葉になりました。「女性を含む」という表現は削除しても影響ないと思います。子育て世代に対する支援の用途に関しては、まだ運用が定まっていません。これから詳細を詰める必要がありますので、ご意見は伝えたいと思います。

会 長 : 「主婦」という表現については、本会でも議論しておかなくてはならないのではないのでしょうか。

委 員 : 私も同感で、基本目標に「主婦」という表現が出てしまうのは、時代にそぐわないのだらうと思います。贅沢な自然環境、ほかに、贅沢なしごと、贅沢はどこにかかるのか、いきがいにもかけるとすると、良い表現なのかどうか。文法的におかしくなってしまうのではないのでしょうか。

事務局 : まず「贅沢な自然環境」が菊川市にはあるということをアピールするという所から始まっています。しごと、いきがいに掛かってくるのかと言われますと、正直間違っているようにも感じます。もう少し適切な言葉があれば、ご意見をお願いします。

副会長 : 菊川型農業モデルというのは何をイメージしていくのか、農業女子を3人育てる、転作を15haする、そういった事が菊川市の独自モデルと言えるのかどうか。基本目標、基本施策ということで重要な内容の割には、平成31年の成果が現状維持だったり、市民アンケートで、更なる充実の中で、不満、やや不満は14%以下ですといったあたり、数字が横並びで、目標値が少し甘い。もっと厳しい数字にしないと、いろいろ施策を投入した時に効果が見えにくいのではないのでしょうか。目標数値は全体的にそう見えます。

事務局 : 菊川型農業モデルというのは、既存農地の活用と、そこに人を呼び込むという目標、実際にやっていくうちに見えてくるようになるかと思っています。国の施策にも合致させて、耕作放棄地の未然防止がこのモデルの一番の特徴だと思っていますので、その表現の仕方を検討したいと思います。農業部門とかなり検討した結果、出してきた言葉なので、この場でこの言葉をご承認いただければと思います。

事務局 : 目標値については、手堅い目標で確実に行く、目立つような大きな目標はなじまないという空気があり、これでも背伸びした数字を入れさせていただきました。

主婦が幸せに暮らせるまちの所で、HPアクセス数が年間10万回と大きく目標値を掲げさせていただいています。現状は月50回程度、月に8,000回以上を目指しています。

菊川市を知っている人の割合ですが、首都圏、名古屋圏、県内でも60パーセント、100パーセントと行きたい所ですが、90%を目指しています。背伸びをしている所もあります。

市民アンケートのやや不満、不満の割合ですが、私達の納得した指標ではありませんが、適正な指標をきちんとアンケートをとって、分析による目標値（指標）を見直す考えです。

委員 : 基本目標は、菊川市の強み弱みを的確にあらわしているだろうと思います。アンケート等で、漠然とですが、菊川市はいい環境と言われています。それに向かって事業を絞っていく必要があると思います。贅沢な自然環境ですが、良い自然を残すという意味で、小学生の時から菊川市のことを勉強してもらって、良さをわかってもらえば必ず戻ってきてくれる、郷土愛を育む重要な取組だと思います。

菊川型農業モデルですが、農業女子を5年間後にはもっと充実させることも重要だと思います。耕作放棄地については、防止と活用についてもっと掘り下げていけば、菊川市が新しく発信できる取組みになると思います。

会長 : 前回と大きく変わったので、説明補足もあればお願いしたいと思います。

事務局 : いろいろ意見を聞いていく中で、良さが無いのが良さというか、そういう中で人口問題が一番大きいポイントであって、絞った中で作成をしていかななくてはいけないと認識しています。既存の事業は、さらに伸ばす必要があると思います。その中で子育て、自然環境による産業の部分で、この先勝負していかなければならないと思っています。また、農業を育てていかななくてはいけないとも思っています。農林大学校には

養成部と研究部があつて、女子が3割で、就職先は茶農家や肥料屋さんへ就職している方も多い。そういうこともうまく利用して、市内で就農できる場をつくることが大事だと思います。

目標については、高い目標を持つべきですが、現実性も大事です。

「主婦」についてはいろんな議論があるので、皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。

会 長 : 用語の選定に入りたいと思います。まず柱の3つにかかる、「主婦」という言葉に代わる言葉をご提案していただければと思います。

委 員 : 「家族」がいいのではないですか。

会 長 : では「主婦」は「家族」へと変更します。贅沢というのは、しごと、いきがいにもかかるのかという点ですが、何かありますか。

委 員 : 贅沢な自然環境の中で、夢の持てるしごとやいきがいといったニュアンスがいいのではないのでしょうか。

会 長 : 贅沢は自然環境までで、「夢のあるしごととか、夢のもてるまち」とかでしょうか。

委 員 : 「贅沢な自然環境、潤い溢れるしごと」とかはどうでしょうか。

委 員 : 贅沢な自然環境のカッコを取って、しごと、いきがいのあるまちではどうですか。

事務局 : 都会の方が移住先としてここを選んでいただいた場合に、豊かな自然環境、のどかな自然環境があることと、都会さながらのいきがいややりがいがあるという事が移住してくるには必要であろうと考えました。よって、ゆとりのある自然環境とやりがいのある生活の2つをここに込めたかった訳です。

委 員 : やはり「贅沢なしごと」いうのは無いだろうと思います。

委 員 : 「しごと」というのは、貴賤ではなくて、やりがいがあるかどうかということが大事ではないのでしょうか。

委 員 : 贅沢というのはインパクトある言葉ですが、カッコが3つ並ぶので、「贅沢」がその3つにかかってしまうように見えてしまっているのではないのでしょうか。

会 長 : 贅沢な自然環境のカッコを取るまではいいですね。しごとの前に何か一言。

委 員 : 大きなシンポジウムでも国でも、この頃「わくわく」という言葉を使い面白いと思っています。贅沢な自然環境でわくわくするまち、未来を創るわくわく感を出したい

のだと思います。

委 員 : 「いきがい」という言葉は、実は意味合いが「ふわっ」としてしまいます。「いきがい」という言葉は仕事だけではなくて、日常生活でも色々と使われると思います。

副会長 : リタイア層でもこれから「いきがい」を持って暮らそうという意味もあるのではないのでしょうか。

委 員 : 何とかの仕事と生きがいのあるまち。両方にかかる何かいい言葉があればよいと思います。

会 長 : 「充実したしごと」などではいかがでしょうか。いきがいは総合的な指標という感じで良いのではないのでしょうか。

事務局 : ここに「いきがい」が入っているのは、リタイアした後の方などが地域活動も含めて、生きがいが持てるということもイメージしています。

会 長 : あともう少しですね。最後の一言。品良く出来ていると思います。

委 員 : 逆に仕事を削り、贅沢な自然環境と生きがいのあるまちではどうでしょうか。
生きがいの中に様々なしごと、住環境などすべて含まれるようなことでも良いのではないのでしょうか。

副会長 : 贅沢な自然環境と、夢あるしごと、いきがいのあるまちというのはどうでしょうか。

会 長 : それでいきましょう。

(ボード記入で確認) 贅沢な自然環境 「夢あるしごと」「生きがい」のあるまち

会 長 : 少し確認をしたいですが、人口ビジョンのところの5,000人の推計ですがよろしいでしょうか。また、基本目標のネーミングについては、概ね内容としてよろしいでしょうか

(委員賛同)

事務局 : 基本目標の3つ目の言葉は、原案のままでよろしいでしょうか。

(委員賛同)

ありがとうございます。

(2) 第2次菊川市総合計画 基本構想骨子(案)について(資料2)

会 長 : 説明について質問ありますか。

委 員 : 「みどり ときめき たしかな未来 菊川市」で異存ありません。

事務局 : 久村委員の意見は、市長が提唱する「安心、安全なまちづくり」にも合い、余計な語句もなく小学生でも理解できる「ずっとあんしん ぐらしやすいまち きくがわ」が良いのではと以前意見をいただきました。

委 員 : みんなが笑顔でいることはすばらしいまちだと思いました。前回の選択肢の中ではこの「未来へつなげ 輝く「笑顔」咲き誇る みどりの都市 きくがわ」という将来像が良いと思い意見させていただきました。

事務局 : 鈴木委員の意見は、ときめきという名詞より、ときめくという動詞の方が良いのではないかという意見を言われていました。

委 員 : 体言止めが多い案の中で、あえて、「生きる」という動詞を入れてみたのですが。

事務局 : 天野委員からの意見は、意識調査等で出てくる「みどり」や「げんき」、「しあわせ」というキーワードをもとに考えたものであるとのこと。あとは、サブタイトルの的に菊川のまちづくりなどを入れてもよいのではという意見でありました。

委 員 : 子どもには共創のまちという言葉は難しそうだと思いますが、みんなでなんかやっていく方がイメージはいいのでは、将来像は硬くやって、サブタイトルは柔らかく、90%の市民がわかるような平仮名で、という方がいいと思います。それから、未来とタイトルにつけるのは市がこれから向かう姿を現していた方が良いのではないかと思います。

事務局 : 市議会の意見では、「みどり ときめき たしかな未来 菊川市」を案として意見をいただきました。その中で、「ときめき」に変わり「いきいき」であるとか「活力」、であるとか元気な未来でもいいのではという意見をいただきました。

会 長 : それでは、修正案等がありましたら、ご提案をお願いします。

委 員 : 将来像であるので、短絡的に「未来」をつけてしまったのかなという感じがしますが。タイトルにつけるのはどうかと思います。

事務局 : 加藤委員案の協働と共創はどう使い分けるのですか。

委 員 : 協働は文字通りみんなで働こうという意味なのですが、共創はクリエイティブに取り組むという意味で、先進国はどこも安定しているので、みんなでクリエートするしかないという社会が共創です。

会 長 : 「みどり」は共通項。「共創」、「安心」というのも何人かの方が使っています。あと「菊川市」と入れるかどうかだと思います。

委 員 : キャッチコピーですから、ワンフレーズで言える方がいいと思います。言葉を聞いて文字が浮かぶ方がいいでしょう。共創は言葉の意味はいいですが、思い浮かびにくいと感じます。将来を未来と言え、いいのではと思います。副題があればそれをセットで考えればバランスが良くなるのではないですか。事務局案でいいのかなと思います。

委 員 : 「案」だということに気が付かず、もうこれに決まっているのだと思っていました。

委 員 : 事務局案が一番いいのかな、と思います。未来は輝いているものだと思います。たしか未来の方がいいと思います。

委 員 : 事務局案がいいと思いますが、菊川市はひらがながいいのでは。私の会社でもむずかしい言葉は使わないようにしています。外国人の方もみえるので難しい言葉は分からないと思いますし、言葉は簡単な方がいいと思います。

委 員 : 事務局案がいいと思います。

副会長 : 前回で、この案を良いと思いましたのでこの将来像で良いと思います。ただ、菊川で切った方が言いやすいのではないかと思います。

委 員 : 「かがやく未来」より「たしかな未来」の方が実感あるような気がします。私は菊川市の方がいいと思います。

委 員 : みなさんの意見を聞いていると、この案でいい気がしてきました。

委 員 : 「みどり いきいき くらしやすいまち きくがわ」もいいかなと思っています。

会 長 : 「みどり」「安心」「共創」の街 菊川 この街に生きる が好きでしたが、みなさんのご意見で、事務局案ということで、「みどり ときめき たしかな未来 菊川市」に決定します。

続いて、参考資料2の基本目標の所にいきたいと思います。「環境」を独自の項目として入れるかどうかについて議論したいと思います。

委 員 : 環境というのは自然だけでないこと、社会環境の重視、生活環境にソフトも含めるということで、2次計画の構成案でいいと思います。

会 長 : 言葉としては、具体的に何か入れますか。

事務局 : キーワードの具体化、「快適で安心して暮らせるまち」の中に、環境のことは含まれますが、特出しするのか、目標の言葉に残しておくべきでしょうか。

会 長 : 「快適で安心して暮らせる環境のまち」というような入れ方もありえるでしょう。いかがでしょうか。

副会長 : どちらでもいいと思っています。ただ、菊川市は循環型のまちづくりが独自に進んでいるので自信持ってやればいいと思います。水質モデル、不法投棄とかも、今後の環境審議会等でカバーしていけば、そうした取組みが盛り込まれればいいと思います。

委 員 : これでいいのではないのでしょうか。

事務局 : 議会で出た意見で、「環境」を言葉として使いたいという意見です。そこで審議会にも提示をさせていただき、ご議論をお願いしました。5つの目標をこれで決定してしまうのかという質問も出ました。

事務局 : また、基本目標の言葉について現時点で固めてしまうのかという意見も議会からありました。枠組みは決めたいですが、言葉については、これから施策を作っていくなかで多少言葉は流動的になってくると説明しています。

会 長 : この場で固めるということではないということでもいいのでしょうか。5つの柱でよろしいですね。

副会長 : もし入れるなら、「快適な環境で安心して暮らせるまち」という風にしたらどうですか。

会 長 : そのように致しますか。ありがとうございました。

(3) 第2次菊川市総合計画 基本構想骨子(素案)(資料3)

(説明)

事務局 : 基本構想の素案です。これから検討していきますが、その他、ご意見についてあれば、お寄せください。

4. 閉 会

副会長 : 今回も熱心にご議論いただき感謝致します。ほぼポイントとなる所は決まったかと思えます。まだ議会などもありつつ、審議会は熱心な御討議で円滑に進められたこと

有難く思います。もう少しすれば、総合計画のほうも全体が見えてくるので、その時を楽しみにしていきたいと思います。ありがとうございました。

以上